

## No. 2188

### 県境に腰を下ろす幽玄な山 **荒海山**

実施日 平成17年5月28~29日(土~日)晴  
リーダー 吉田 勝教  
参加者 上野キヨ、斎恵美子、桜井司朗、  
計4名

コースタイム 1日目 東武線浅草駅(9.10)野岩鉄道会津高原駅(12.21~13.05)三滝温泉(13.05~13.10)高土山 No.84 鉄塔(14.10~14.40)会津高原駅周辺(15.20~16.20)三滝温泉(16.25泊)  
2日目 三滝温泉(7.25宿の車)八総鉦山跡(7.35~7.45)登山口(8.15~8.20)町村境界尾根鞍部(9.58~9.05)荒海山(11.15~11.55)町村境界尾根鞍部(13.38~13.45)登山口(14.14~14.20)八総鉦山跡(14.40~14.45夕シ)三滝温泉(14.55~15.30)会津高原駅(15.38野岩鉄道・東武鉄道)

費用 交通費 東武浅草駅~会津高原駅(往復)5,080円 夕シ-750円 計5,830円  
宿泊費(税込)9,100円  
合計 14,930円

合流のため東武線の栃木駅で乗り込んだら、すぐにボックス席の3人とお会いでき、まずホットして列車による



会津西街道の旅が始まった。1日目は、周辺の散策ということで、駅から見える送電線の鉄塔を頂いた山に登った。整備された巡視路があり、1時間ほどで鉄塔の下に立つことができ、明日の荒海山を遠くに眺めることができた。二日目は、宿の人に車の入れる鉦山跡まで送ってもらった。少し歩くと日陰に残雪があったので、昨日飲み残した缶ビールを1本埋めて下山時の楽しみとして、山側のフキやウドを見

ながら登山口へ着いた。ここからは、長いロープが架け



られた急傾斜の滑床などがあり、これからのコースの

暗示となった。鞍部に出てからの快適な尾根歩きはほんの少しで、あとは、大木の山側を越える小さなアップダウンと倒木で歩きにくい水平移動が続き疲労が蓄積してきた。最後の標高差200mは、雪解け水で緩んだ急坂をロープ頼りの登りとなり、ズボンまで汚しながら頂上に着いた。頂上は360度の視界、大きく雪を頂いた飯



豊山系が印象的だった。下山は、戻りのタクシーの予約時刻より早く着いたら、山菜を採って時間を費やそうとしていたが、荒れたコースのおかげで時間を稼げず余裕



ができなかった。最後は、表面が融けて顔を半分出した、それでも充分冷えた缶ビール

を飲んで、疲れを癒した。